

令和2年度
(第10期)

事業状況報告書

自 令和2年 4月 1日

至 令和3年 3月31日

事業状況報告書

本年度は、主な事業として、表彰、助成、講演会、標準化、自主研究などの事業を実施し、所期の成果を挙げ、ウェアリング技術の向上、発展及び普及啓発に貢献した。

1. 会 議

(1) 理 事 会

令和2年 6月 3日 (水) [第19回] 書面決議
令和3年 3月 9日 (火) [第20回] Web開催

(2) 評 議 員 会

令和2年 6月19日 (金) [第19回] 書面決議
令和3年 3月17日 (水) [第20回] Web開催

(3) 審 査 委 員 会

令和3年 2月15日 (月)

2. 主要事業の概要

2. 1 スガウェアリング財団賞表彰及び助成

(1) 第38回表彰・第39回助成贈呈

下記の通り実施した。

新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、贈呈式並びに記念祝賀会の開催は中止した。

[表 彰] 科 学 技 術 賞…2件
科 学 技 術 功 労 賞…1件
科 学 技 術 奨 励 賞…1件
技 術 功 労 賞…1件

[助 成] 研 究 助 成…2件 … [添付資料①]

(2) 第39回表彰・第40回助成 候補者募集

募集期間は令和2年7月～10月末までとし、全国の大学及び学会・協会・産業界・団体等約280機関に対して推薦を依頼した。また、財団ホームページで募集した。

(3) 第39回表彰・第40回助成 選考及び決定

11月～12月にかけて書類選考を実施した後、ヒアリングを令和3年1月27日(水)、1月29日(金)、2月3日(水)、2月4日(木)に実施、令和3年2月15日(月)の審査委員会において審査し、次の表彰・助成を選考、令和3年3月9日(火)第20回理事会において決定した。

[表 彰] 科 学 技 術 賞…1件
科 学 技 術 功 労 賞…1件
科 学 技 術 奨 励 賞…1件

[助 成] 研 究 助 成…3件 … [添付資料②]

表彰・助成贈呈式は、令和3年4月28日(水)にWeb開催することとした。

2. 2 Webセミナー（スガウェザリング学術講演会の代替行事）

Webセミナーを下記の通り開催し、ウェザリング技術の普及啓発を行った。新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、例年東京・大阪で開催の対面式のスガウェザリング学術講演会は延期した。

第1回スガウェザリングWebセミナー2021

期 間：令和3年2月1日（月）～2月5日（金）

方 法：オンデマンド配信

参加者：513名

…〔添付資料③〕

2. 3 標準化事業

本年度は、ウェザリング技術に関する標準化事業として、下記規格の改正原案の作成を行った。

JIS L 0841（日光に対する染色堅ろう度試験方法） 改正 （継続中）

JIS L 0842（紫外線カーボンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法） 改正 （継続中）

2. 4 自主研究

(1) 耐候光研究

①塗装板、プラスチック等各種材料について、屋外暴露と各種促進耐候性試験との相関研究のまとめを行った（継続中）。また、その成果の一部を用いて下記講演会で発表した。

・当財団 主催「第1回スガウェザリングWebセミナー2021」

講 演 日：令和3年2月1日（月）～2月5日（金）

講 演 演 題：「特徴ある地球環境に曝されたプラスチックの劣化事象から
— 地球環境の多様性を考える —」

講 演 者：当財団耐候研究委員会 渡辺 真 委員

②太陽放射の基準として多くの促進耐候性試験規格に引用されてきたCIE 85:1989の廃止、並びにCIE 241:2020新規発行にあたり、その技術内容の比較を行った。また、その成果を下記講演会で発表した。

・当財団 主催「第1回スガウェザリングWebセミナー2021」

講 演 日：令和3年2月1日（月）～2月5日（金）

講 演 演 題：「CIE 241:2020 (Recommended Reference Solar Spectra for Industrial Applications) の発行 — CIE 85:1989からの改正 —」

講 演 者：当財団耐候研究委員会 喜多英雄 委員

(2) 腐食研究

屋外暴露と各種腐食促進試験との相関研究（平成26年～平成29年）のまとめを行った（継続中）。

2. 5 普及啓発事業

Webセミナー開催に当り、「第1回スガウエザリングWebセミナー2021要旨(PDF形式)」を発行した。
Webセミナー参加者に販売すると共に、以後関係者に販売し、ウエザリング技術の普及活動を行った。

3. 外部団体への協力

3. 1 外部団体等の研究への参画及び協力

当財団より下記委員会に委員を派遣し、協力した。

- (1) 日本学術振興会 染色堅ろう度第134委員会
- (2) 日本学術振興会 繊維・高分子機能加工第120委員会
- (3) (一社) 繊維評価技術協議会 国際標準化委員会
- (4) (一社) 繊維評価技術協議会 繊維標準化委員会

3. 2 外部団体の会議開催などの協賛及び協力

- (1) (一社) 日本鋼構造協会主催の「第43回鉄構塗装技術討論会」に協賛した。
〔令和3年1月21日(木)～31日(日) 動画配信によるオンライン形式〕

第38回 スガウェザリング財団賞 表彰

[科学技術賞] 本賞：表彰状 副賞：(1)正倉院記念楯 (2)賞金50万円

	受賞者	研究業績の名称	推薦団体
1	いちばみきゆき 市場幹之 東京電力ホールディングス株式会社 経営技術戦略研究所 首席研究員	暴露試験技術と水素脆化評価技術の高度化と普及によるPC鋼材使用設備の信頼性向上	(一財)日本ウエザリングテストセンター
2	かたやまひでき 片山英樹 物質・材料研究機構 構造材料研究拠点 解析・評価分野 分野長	鋼製構造物各部位の腐食環境と耐食性評価	物質・材料研究機構

[科学技術功労賞] 本賞：表彰状 副賞：(1)ギリシャ神話像記念楯 (2)賞金20万円

	受賞者	研究業績の名称	推薦団体
1	たかはしてつや 高橋哲也 島根大学 人間科学部 研究担当副学部長 教授	オゾンホール発生時の短波長紫外線がヒト皮膚に及ぼす影響に関するコラーゲン人工皮膚を用いた紫外線暴露研究	島根大学

[科学技術奨励賞] 本賞：表彰状 副賞：(1)ギリシャ神話像記念楯 (2)賞金20万円

	受賞者	研究業績の名称	推薦団体
1	わかつきかおる 若月 薫 信州大学 繊維学部 機械・ロボット学科 准教授	消防隊員の安全に資する基盤研究及び国内外標準化作成への活動	信州大学

[技術功労賞] 本賞：表彰状 副賞：(1)ギリシャ神話像記念楯 (2)賞金10万円

	受賞者	研究業績の名称	推薦団体
1	さとうしんいち 左藤真市 大阪産業技術研究所 金属表面処理研究部 表面化学研究室長	気化性防錆剤の性能評価に関する研究とその標準化	大阪産業技術研究所

(敬称略)

第39回 助成

[研究助成]

	受領者	助成課題	推薦団体	助成額
1	さかいりまさとし 坂入正敏 北海道大学 工学研究院 材料科学部門 准教授	北方圏での大気腐食挙動におよぼす雪の影響	ステンレス協会	100万円
2	なんぶこういちろう 南部紘一郎 豊田工業大学 先端工学基礎学科 助教	ウェットブラスト技術を援用した加速耐食性評価技術の研究	トヨタ学園 豊田工業大学	50万円
			合計	150万円

(敬称略)

[国際会議助成]

該当なし。

第39回 スガウェザリング財団賞 表彰

[科学技術賞] 本賞：表彰状 副賞：(1)正倉院記念楯 (2)賞金50万円

	受賞者	研究業績の名称	推薦団体
1	はやかわやすひろ 早川泰弘 独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所 保存科学研究センター長	可搬型蛍光X線分析装置による文化財調査 -日本絵画の彩色材料に関する新知見-	独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所

[科学技術功労賞] 本賞：表彰状 副賞：(1)ギリシャ神話像記念楯 (2)賞金20万円

	受賞者	研究業績の名称	推薦団体
1	あさくら まもる 朝倉 守 地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター	染色堅ろう度に関わる研究とその標準化	地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター

[科学技術奨励賞] 本賞：表彰状 副賞：(1)ギリシャ神話像記念楯 (2)賞金20万円

	受賞者	研究業績の名称	推薦団体
1	ふじいともゆき 藤井朋之 国立大学法人静岡大学 工学部 機械工学科 准教授	ステンレス鋼における応力腐食割れ寿命評価法の確立	国立大学法人静岡大学

(敬称略)

第40回 助成金 贈呈

[研究助成]

	受領者	助成課題	推薦団体	申請額
1	かめやま ゆたか 亀山雄高 学校法人五島育英会 東京都市大学 理工学部 機械工学科 准教授	粒をもって塵の付着を制する、ナノ凹凸作製技術の開発	学校法人五島育英会 東京都市大学	50万円
2	つる さききょういち 津留崎恭一 地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所 化学技術部 グループリーダー	ゴム材料の初期劣化を捉える 非線形粘弾性指標の探索	地方独立行政法人 神奈川県立産業 技術総合研究所	50万円
3	どい こうたろう 土井康太郎 国立研究開発法人 物質・材料研究機構 構造材料研究拠点 独立研究者	高酸素腐食促進試験法の不働 態化金属への提要	国立研究開発法人 物質・材料研究機構	100万円
			合計	200万円

(敬称略)

[国際会議助成]

該当なし。

第1回スガウェザリング Web セミナー2021

1st SWTF WEB SEMINAR 2021 : WEATHERING

日 程：2021年2月1日（月）～5日（金）
会 場：オンライン上のオンデマンド配信

ご挨拶 スガウェザリング技術振興財団 理事長 須賀 茂雄

1 【耐候】
CIE 241:2020 (Recommended Reference Solar Spectra for Industrial Applications) の発行
— CIE 85:1989 からの改正 —
(公財)スガウェザリング技術振興財団 耐候研究委員会 喜多 英雄

2 【耐候】
特徴ある地球環境に曝されたプラスチックの劣化事象から
— 地球環境の多様性を考える —
(公財)スガウェザリング技術振興財団 耐候研究委員会 渡辺 真

3 【耐候】
分光老化試験の重要性と国際標準化、試験の実例紹介
スガ試験機(株) 色彩課 吉本 貴子

4 【腐食】
腐食促進試験規格 ISO 9227, ISO 14993, IEC 60068-2-52 の解説と
各試験方法における鋼板 SPCE の腐食減量
スガ試験機(株) 開発部 長谷川和哉

5 【色彩】
像鮮明度の測定原理と光沢・ヘーズ・像鮮明度の測定値比較
スガ試験機(株) 色彩課 田中 智

(敬称略)

主 催： 公益財団法人スガウェザリング技術振興財団

後 援： 文部科学省

協 賛： (一社) 軽金属製品協会 (公社) 高分子学会
(一社) 色材協会 (公社) 自動車技術会 (一社) 繊維学会
(一財) 日本ウエザリングテストセンター (一社) 日本建築学会
(一社) 日本照明工業会 (一社) 日本ゴム協会 (一社) 日本塗料工業会
日本プラスチック工業連盟 (一社) 日本防錆技術協会
(一社) 表面技術協会 (公社) 腐食防食学会 スガ試験機(株)